



2026年4月9日

各位

会社名 株式会社 魚 喜
代表者名 代表取締役社長 有吉美和
(コード番号: 2683 東証スタンダード)
問合せ先 管理本部副本部長
兼 経理部長 尾崎勝弘
電話番号 0466-45-9282

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026年2月期第4四半期連結会計期間におきまして、特別損失を計上いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。また、当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年4月11日に公表した2026年2月期通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

2026年2月期第4四半期連結会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、営業活動から生じる損益が継続してマイナスな店舗等の減損損失39百万円を計上いたします。

2. 業績予想の修正

(1) 2026年2月期通期連結業績予想数値の修正 (2025年3月1日～2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,950	60	60	40	15.66
今回発表予想 (B)	9,492	88	90	30	12.16
増減額 (B-A)	△458	28	30	△10	—
増減率 (%)	△4.6	46.7	50.0	△25.0	—
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	9,934	89	105	31	12.23

(2) 修正の理由

当連結会計年度における売上高は、既存店の強化、E C事業の商品アイテム数拡大及び卸事業の販路拡大等を目指し営業活動に取り組んでまいりましたが、大型店舗を含む2店舗の閉店（鮮魚事業）を行ったことにより予想値を下回る94億92百万円（前連結会計年度比4.4%減）となる見込みであります。

一方で、収益構造の改善に向けた取り組みとして、既存店の原価率及び適正在庫の見直し等を行った結果、売上総利益率は前連結会計年度と比べ0.7%良化し45.5%となる見込みであります。

経費面においては、働き方改革によるローコストオペレーションによる労働生産性の向上に加え、店舗運営コストの見直しを始めとする全社的な収益構造の改善に取り組んだことで、販売費及び一般管理費合計が減少（前連結会計年度比2.9%減）し、営業利益は88百万円（予想比46.7%増、前連結会計年度比1.1%減）と予想値を上回る見込みであります。

経常利益におきましても、90百万円（予想比50.0%増、前連結会計年度比14.8%減）と予想値を上回る見込みであります。

しかしながら、「1. 特別損失の内容」に記載のとおり「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失を39百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は30百万円（予想比25.0%減、前連結会計年度比1.8%減）と予想値を下回る見込みであります。

- ※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上